

# 進化を続ける図書館へ



「本を借りる場所」から  
「課題を解決する場所」へ

図書館は小説や雑誌、絵本を読むところ、借りるところというイメージがありません。近年は、市民の皆さんに一番身近な生涯学習施設としての役割に加え、皆さんの生活や仕事などの課題を解決し、自立を支援する情報提供施設としての役割が求められています。

市民の皆さんにとって図書館は、まさに情報・知識を提供する最も身近で、それぞれの人に合わせ密着したサービスを提供できる施設であるといえます。本市の図書館は年間延べ約10万人が利用しています。今後、図書館を必要とする人がさらに増えるよう、また利用した人に満足してもらえよう、これまでのサービスと合わせ、さまざまな新しい取り組みも行っていきます。今回は、本市図書館が取り組んでいる課題解決支援について紹介します。

《図書館課》

## お仕事応援コーナーの設置

世の中に溢れる膨大な情報の中から自分に必要な情報を見つけ出すのは大変。そこで、東図書館では、2月から皆さんのお手伝いができるよう、仕事関係の資料をまとめて配置した「お仕事応援コーナー」を設置しました。

「お店を開きたい、会社を設立したい」「仕事で役立つ情報やアイデアがほしい」「資格を取りたい」とどんな仕事か調べた



▲仕事に役立つ本を多数配置 ▲お仕事応援コーナー

「『お金の勉強がしたい』など、就職や経営といったさまざまな場面で役立つ資料を集めています。

全国ではこうした図書館のビジネス支援(16)で紹介するレファレンスサービスも含む)から、起業につながったケースや商品のブランド化につながったケースも多く生まれています。

本市でもそうしたケースが生まれるよう、図書館から皆さんの仕事を応援します。

## 各種セミナーや講座の開催

お仕事応援コーナーのほか「ウズベキスタンってどんな国?」といった各種セミナーや講座を定期的開催しています。



▲ウズベキスタンってどんな国?

ます。

今月は高齢者支援課と共催し「図書館で学ぶ『認知症サポーター養成講座』(28)に関連記事を実施します。

多様な情報をお届けし、皆さんの学びのお手伝いをしています。

## 特集コーナーも要チェック!!

定期的に入れ替わる「特集コーナー」では、季節の行事や社会の出来事などのテーマに合わせて、司書が厳選した本を紹介。



(右) 認知症特集  
(下) ウズベキスタン特集



地方起業の教科書-地方での起業こそが、最強のビジネスモデルである!  
中川直洋/著 あさ出版



首都圏依存はもう古い! 田舎で稼ぐ新しい働き方を提案。小さなコストで大きな利益が得られる「地方起業」に必要な考え方から、事業計画の立て方までを解説しています。

世界中の子どもの権利をまもる30の方法 -だれひとり置き去りにしない!

国際子ども権利センター、甲斐田万智子/編 荒牧重人/監修 合同出版



人身売買、子ども兵士、LGBT…。子ども達が直面する問題を解決する30の方法を示した、国際理解・権利学習の入門書。SDGsを実践的に学べるヒントが満載です。巻末には参考資料や「おすすめ本」リストあり。



おすすめ  
です!